

2024年3月4日

京都府知事 西脇隆俊 様

北山エリアの将来を考える会
京都府立植物園整備計画の見直しを求める会
(なからぎの森の会)
植物園の環境と景観を守る北区の会
北山エリアを考える府大関係者の会

旧総合資料館跡地の暫定利用についての説明会・住民懇談会の開催の要望

拝啓

向春の候、貴職には京都府民のための公務、ご苦労様です。

2023年12月に「旧総合資料館跡地暫定活用事業」を日本リグランド（株）と契約されました。この事業は暫定とはいえ、2032（令和14）年3月までという8年余におよぶ長期の事業であり、地域住民、府民・市民にとっての期待と影響は大きなものです。

そこで、昨年12月22日にも、この総合資料館跡地の解体についての住民説明会の開催の要望書を上記4団体で提出しましたが、「総合資料館跡地の解体工事については、日本リグランドに近隣へ説明するように依頼しているので、京都府として説明会はしない」という政策監付理事の回答でした。説明会については、2023年5月19日の「旧総合資料館跡地の解体・整備に関する説明会等の要望」の提出時には、角田政策監は「解体工事の説明会は行う」と述べられています。明らかな約束違反であり、非常に残念な対応だと考えます。そのうえで、以下を要望いたします。

要望

（1）本年1月29日には、私たちの要望を無視した形で日本リグランドは解体工事を開始しはじめており、アスベストへの対応も不安が残ります。改めて解体工事への住民説明会を要望します。

（2）また外周の垣根をはじめ跡地の多くの植木が切り倒されています。私たちは、京都議定書にある地球温暖化への対応や持続可能な京都の環境を考えると、この敷地内の樹々をできるだけ残した暫定利用を要望します。

（3）1月下旬になってから日本リグランドは解体工事の説明と共に「暫定利用案」を一部地域に配布していますが、この案は府民の意見を十分に踏まえたものとはいえません。早急に「暫定利用」についての住民懇談会（タウンミーティング）の開催を要望いたします。この住民懇談会（タウンミーティング）は多くの府民が参加できるように複数回、複数の場所で開催され、暫定活用の計画案に府民・住民の意見を取り入れられることを要望します。

府民・住民の声を反映してこそ、北山エリアの玄関口であるこの地域の有用かつ有効な利用案が形成されたいと考えます。2週間以内の回答を求めます。

以上